

巻頭言

脳と発達誌でのオーサーシップの確認

林 雅 晴

公益財団法人東京都医学総合研究所 (編集委員長)

最近、一部の学会誌などにおいて、論文の冒頭や末尾に「著者の役割分担の明記」を見かけるようになりました。本誌 47 巻 2 号の巻頭言「日本医学雑誌編集者会議ガイドラインの紹介」でも言及しましたが、STAP 問題以降、著者資格 (オーサーシップ) が世界的に議論されています。日本医学雑誌編集者会議 (Japanese Association of Medical Journal Editors: JAMJE) が属する医学雑誌編集者国際委員会 (International Committee of Medical Journal Editors: ICMJE) recommendation (2013 年) では、「3.1 著者資格 (オーサーシップ)」において、「著者は論文の根幹をなす研究で多大な貢献を果たした人物であり、研究組織の仲間や長というだけで実質的貢献のない人を著者とするのは誤り」とされ、オーサーシップを十分理解した上で共著者を選びことが推奨されています。JAMJE の関係者の話によれば、ICMJE の基準は今後さらに厳しいものになることが予想されるということです。

ICMJE recommendation に準拠する形で、2015 年 JAMJE が刊行した「医学雑誌編集ガイドライン」(http://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf) によれば、著者は下記 4 条件のすべてを満たすべきであり、すべてを満たさない貢献者 (contributor) は著者として扱わず、謝辞で個人個人を列挙する、あるいは「参加研究者」等見出しのもとに、グループとして寄与内容を示すべきとなっています。

4 条件は次の通りです。①研究の構想もしくはデザインについて、または研究データの入手、分析、もしくは解釈について実質的な貢献をする。②原稿の起草または重要な知的内容に関わる批判的な推敲に関与する。③出版原稿の最終承認をする。④研究のいかなる部分についても、正確性あるいは公平性に関する疑問が適切に調査され、解決されるようにし、研究のすべての側面について説明責任があることに同意する。

2016 年 5 月 16 日、日本医学会が主催した「第 2 回研究倫理教育研修会 医学研究の適正化と倫理」の質疑において、「著者は JAMJE ガイドラインの 4 条件を満たしているはずであり、論文末尾等に貢献者 (contributor) のごとく、役割分担を明記する必要はないのでは」と林が質問したところ、JAMJE 組織委員会委員長の北村聖先生 (東京大学大学院医学系医学教育国際研究センター 教授) から、「私見ではあるが、4 条件を満たしている著者の役割分担を明記する必要はないと考える」との回答が得られました (研修会議事録に記載済み)。要するに、著者として JAMJE ガイドラインの 4 条件を満たしていることを明言することが、何よりも重要であると推察されます。

上記の経緯に則り、本誌では今後、論文投稿時やテクニカルチェックにおいて、主著者に対して「すべての著者が JAMJE ガイドラインの著者資格 4 条件を満たしていること」を確認させていただきます。さらに採用論文の末尾にも前記 4 条件の遵守を明記させていただく予定です。

皆様、ご存じのごとく、近年、本誌では倫理的配慮に関するチェックを厳格化し、症例報告では投稿同意、原著論文では倫理審査委員会承認、などの確認を進めさせていただいております。投稿を考慮中の先生方ならびに投稿をご指導いただく先生方に、さらなるご面倒をおかけすることになるかもしれませんが、どうか国際標準としてご理解いただき、著者資格 (オーサーシップ) における確認をよろしく願います。